

(三瓶町) 東地区

地域の課題	地域で行ったこと	達成度	地域で出来ること
<ul style="list-style-type: none"> • 空き家が多い 	<ul style="list-style-type: none"> • 空き家は撤去しているところもある • 家主が県外で家が老朽化して危険な状態 • 種まきハウスに改装中（公営塾の講師が中心） • 空き家バンクがある • 三瓶に住みたい人はいるが家具が置きっぱなし状態 	2	<ul style="list-style-type: none"> • 空き家マップを作成
<ul style="list-style-type: none"> • 銀天街がシャッター通りになっている 	<ul style="list-style-type: none"> • イベントの開催（マルシェ） • シャッターアート • 「花手水」のコンテスト • 昼市の開催 	4	<ul style="list-style-type: none"> • イベントの周知と開催の継続
<ul style="list-style-type: none"> • 行政からの情報がもらえない 	<ul style="list-style-type: none"> • 情報は自ら集める 	4	<ul style="list-style-type: none"> • 情報を自ら集める • 自主防災会が申請したら、要支援者の情報がもらえる
<ul style="list-style-type: none"> • 隣近所とのつきあいが少ない（十人組がない） 	<ul style="list-style-type: none"> • 民生委員や近所の人がかけている • 地域であいさつ • サロンの開催 	4	<ul style="list-style-type: none"> • 見守りを継続
<ul style="list-style-type: none"> • 8050世帯や、独居高齢者者世帯が多い 	<ul style="list-style-type: none"> • 地域の人が見守りしている • 安心キットの配布 • 給食サービス（80歳以上の独居・高齢者世帯） 	4	<ul style="list-style-type: none"> • 見守りを継続

【担当者(ファシリテーター)のコメント】

「空き家が多い」との課題については、みんなで育てるコミュニティスペースとして「種まきハウス」を改装中。世代を越えた繋がりや学びの場など新たな仕組みづくりを構築することを目的としている。また、空き家マップを作成する事で、空き家の活用の取り組みが活発に行われると思われる。ご近所のつきあいや高齢者世帯等に対しては、地域でのあいさつ、声掛けや見守りを継続していく事で地域の繋がりを大切にされている。今後は商店街のシャッターアートや住民主体のイベントの開催等で地域を盛り上げていただきたい。

(三瓶町) 二木生地区

地域の課題	地域で行ったこと	達成度	地域で出来ること
<ul style="list-style-type: none"> 危機意識が低い（防災） 	<ul style="list-style-type: none"> 防災マップづくり完了 避難訓練（地区住民参加） 避難所運営についての研修 災害時要支援者共助票の作成 毎年、班員による確認 	4	<ul style="list-style-type: none"> 要支援者の避難訓練（方法） 避難夜間誘導灯の設置
<ul style="list-style-type: none"> 医療機関が遠く、交通手段が無い 	<ul style="list-style-type: none"> 自家用有償旅客運送（計画中） 個人がしている介護タクシー 	2	<ul style="list-style-type: none"> 自動運転バス 福祉有償運送の計画
<ul style="list-style-type: none"> 昔に比べて、住民のつながりがうすい（都会化） 	<ul style="list-style-type: none"> 伝統芸能の継承ができていく（コロナ） 地域内の敬老会が実施できていない（現在は中断してる） 	1	<ul style="list-style-type: none"> 伝統芸能の継承 人が集まる場の設定
<ul style="list-style-type: none"> 店が無い（高齢者が不便） 	<ul style="list-style-type: none"> 買い物支援宅配サービス（計画中） 移動販売（農協、生協、個人） 	2	<ul style="list-style-type: none"> 宅配サービス 買い物支援サービス 高齢者の買い物ツアー（病院ついでに） 生協の利用
<ul style="list-style-type: none"> 高齢者のゴミ出し 	<ul style="list-style-type: none"> 近隣の付き合いでの手伝い 	2	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者を見守る仕組みづくり
<ul style="list-style-type: none"> 地域課題、後継者不足 	<ul style="list-style-type: none"> 日だまりサロン（計画中） ウォーキングしている人が多い 何でも屋組織（人材バンクの活用） 		

【担当者(ファシリテーター)のコメント】

二木生地区では、以前「防災についての危機意識が低い」という課題が出ていたが、人と人の繋がりが強い地域性もあり、住民参加による避難訓練の実施や、防災マップの作製など様々な取り組みをされていると感じた。

また、近年はコロナの影響もあり住民の集まるイベントも自粛しているが、伝統芸能を絶やさないような活動や住民が気軽に集まることのできる場所もあればという前向きな意見も多かった。

(三瓶町) 周木地区

地域の課題	地域で行ったこと	達成度	地域で出来ること
<ul style="list-style-type: none"> ・店が無い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドライブスーパーしゅう（月曜日） ・だんだん（火・金曜日） ・買い物代行 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・移動販売車の増車・増便 ・買い物タクシー ・「リバーサイド」でカフェ
<ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が少ない （交通弱者） 		3	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎車
<ul style="list-style-type: none"> ・防災意識が低い 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災備品の整備 ・安心キットを準備（独居高齢者） 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練 ・災害食の試食
<ul style="list-style-type: none"> ・健康管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・体操教室の実施（毎週火曜日） ・血圧・体温チェック ・いきいきおしゃべりクッキング 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・体操教室を土曜日にして欲しい（仕事をしているので参加できない。） ・新しい料理教室グループを作りたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・世代間交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生と交流 ・竹あかり ・PPバンドかご作り ・SNS 発信（インスタ・LINE・YouTube） ・ビリ通（ビリ島通信）（月1） 		<ul style="list-style-type: none"> ・関係者人口の増加 ・お餅つき ・マリンスポーツ体験 ・海水浴場復活 ・ドローン会場 ・小学校跡地の利用 ・空家の利用 ・釣り大会 ・LINE で釣り情報を流す ・ポルタリング（ゆったり走る気楽なサイクリング。目的地は様々で、景色の良い海沿いを走る、とか）

【担当者(ファシリテーター)のコメント】

少子高齢化が顕著ではあるが、地域づくり組織の活動が活発に行われ、体操教室や料理教室等の高齢者の集いの場及び生きがいづくりの場が積極的に開催されている。ビリ島をはじめとする地域資源を活用して、若年層にも地域の魅力を発信しており、関係人口の増加につながっている。また、『リバーサイド』でカラオケが出来るようになるなど、座談会で出てきたアイデアが実現しており、今後も地域づくり組織を中心とした地域の発展に期待したい。

(三瓶町) 蔵小校地区

地域の課題	地域で行ったこと	達成度	地域で出来ること
<ul style="list-style-type: none"> ・防災、減災について 	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄食料水の量の点検、増量 ・防災倉庫の整備、毎年実施 ・入替え備蓄品の配布 ・要援護者名簿の作成 ・砂防ダム三楽園裏完成間近（手すりの設置も） ・安心キットの普及 ・市主催大規模防災訓練 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・安心キット声かけの継続 ・南海トラフ地震による津波からの避難場所の確保（三楽園あと地） ・地区、消防他、要支援者の把握（できていないのではないだろうか）
<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の担い手について 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の情報を発信 通信・SNS ・分館巡回…茶菓子を囲んで地域の情報を聞く ・サロン ・手上げ型の資金を利用グループが地域活動を実施 ・老人会 清掃活動など ・ゴミ袋販売 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代との交流 ・日常的に飲食できるコミュニティの場 ・クリーン運動（役員のみで地域の方とコミュニケーションがとれていない）
<ul style="list-style-type: none"> ・専門医への受診が困難 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり ウォーキングしている人多数（⇒コスモス整備 景観◎） ・分館巡回時にみんなで体操 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・救命講習会 ・タクシー券や、自営の運転する人があればいい
<ul style="list-style-type: none"> ・買い物が不便 	<ul style="list-style-type: none"> ・だんだん、周ちゃんの利用 ・移動販売の品物が少なくなる。下泊→有太刀（たまには反対にしてほしい） 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・品物の充実 依頼できたら… ・生協 ・ネット ・買い物補助や代行
<ul style="list-style-type: none"> ・活動資金の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・手上げ型交付金利用団体が活発に活動している（5団体→メダカ・太陽会・運動会・まるごとくうかい・イルミネーション） ・花火大会資金 全額地元から 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・不用品バザーの開催

(その他意見・課題) ・害獣駆除→南公民館 アナグマ、シカ、イノシシの捕獲で減った
・観光、みかん、米づくり、ブクブク田、魚釣りなどの情報発信

【担当者(ファシリテーター)のコメント】

「専門医への受診が困難」「買い物が不便」の交通等に関する課題については、今ある地域の資源を活用した取り組みの継続ということで、達成度は「2」となっている。「活動資金の確保」「地域活動の担い手について」の課題では、資金を活用し活発に地域活動が行われており、その情報発信にも取り組まれている。加えて、サロンや分館巡回での交流の場、体操なども進められており、地域の方々の声を反映し、住民のみなさんが心身ともに元気になる活動を展開されていると感じた。

(三瓶町) 下泊地区

地域の課題	地域で行ったこと	達成度	地域で出来ること
<ul style="list-style-type: none"> ・買い物が不便 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動販売週 2 回 20 人程集まる ・生協利用 ・近隣たのむ 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・移動販売で不足のものは頼み合い ・移動販売の場所を集いの場に（生協の場も） ・返納者の半額チケットの活用
<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の担い手不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・女性に期待（盆踊り、敬老会、消毒液） 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・空家活用 ・ゲストハウス
<ul style="list-style-type: none"> ・消防団員がいない 		3	<ul style="list-style-type: none"> ・OB 機能別の活用
<ul style="list-style-type: none"> ・農家が減少し農道の管理が困難 ※ 所有者不在又は管理不能 	道づくり、除草剤、中山間集落協定	3	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの活動を継続していく
<ul style="list-style-type: none"> ・急傾斜が多く宅地の裏山管理が大変 ※ 所有者不在又は管理不能 		2	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの活動を継続していく

72

【担当者(ファシリテーター)のコメント】

三瓶町の南端に位置し交通アクセスが悪く、前回は農協の閉鎖による買い物難民を危惧する意見が多かったが、現状として移動販売（週2回）や生協の活用、近所同士の助け合いによって生活を維持されている。

参加された方の話として、今後は、地域づくり活動センターにはセンター長と地域任用職員を配置して行政手続きは、従来通り三瓶支所にて行うという話でした。

徐々に人口が減少で地域の担い手が不足するなか、地域住民が納得できる手法を模索しており、地域で出来ることの一つに、移動販売が来た時に20人程が集まっているところに着目してそこを「集いの場として生かせないか」などの案が出ていた。

今後の取組みに期待したい。